

鴨川公園におけるゴミ箱の改善方策について

試行調査の実施内容

- 調査期間 平成24年10月29日（月）～11月25日（日）
 - 現況把握 10月29日（月）～11月11日（日） 2週間
 - 試行調査 11月12日（月）～11月25日（日） 2週間

■ 調査内容

① ゴミ箱減少調査

目的：ゴミ箱を減らした場合のゴミの量とゴミ散乱状況を調査

場所：荒神橋～丸太町橋（左岸） ※430mの間：8箇所を4箇所に減

手法：・各ゴミ箱のゴミの量（家庭ゴミの混入量を含む）を数値で評価し、写真を撮影する。

- ・付近への影響を評価するため、荒神橋左岸上流1つ目のゴミ箱と丸太町橋左岸下流1つ目のゴミ箱まで調査する。

② 蓋付きゴミ箱調査

目的：蓋付きゴミ箱を設置することで鳥類被害の状況変化を見る調査

場所：葵橋～高野川合流部（両岸） ※3箇所、市販の蓋付きゴミ箱を購入

方法：・鳥類によるゴミ散乱被害の有無（クチバシでつついた形跡も含む）の調査し、写真を撮影する。

③ ゴミ箱撤去調査

目的：ゴミ箱を撤去した場合のゴミの量とゴミ散乱状況を見る調査

場所：北山大橋～北大路橋（左岸） ※840mの間：9箇所を全て撤去

手法：・各ゴミ箱のゴミの量（家庭ゴミの混入量を含む）を数値で評価し、写真を撮影する。

- ・付近への影響を評価するため、北山大橋左岸上流1つ目のゴミ箱と北大路橋左岸下流1つ目のゴミ箱まで調査する。

④ 家庭ゴミ混入調査

目的：家庭ゴミ混入の多いゴミ箱を、一部撤去して家庭ゴミ混入量の変化を見る調査

場所：上賀茂橋～北山大橋（左岸） ※3箇所を2箇所に減

方法：・各ゴミ箱の家庭ゴミの混入量を数値で評価し、写真を撮影する。

※ ゴミ箱が満杯の状況を1として数値化

※ 家庭ゴミと一般ゴミの区別は困難なため、調査員の主観が含まれる

■ 調査結果

別紙調査結果のとおり

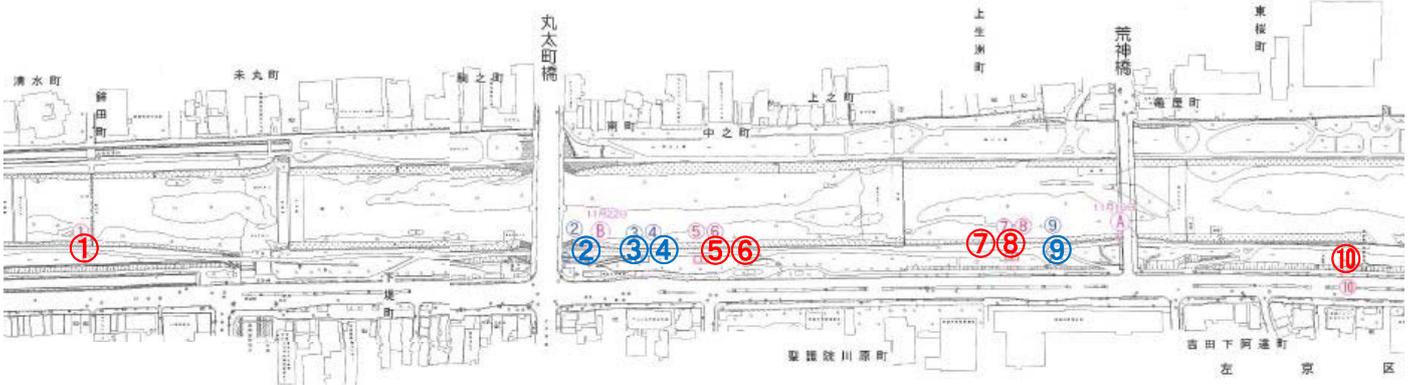
鴨川公園ゴミ箱調査（その1）

（調査日：平成24年10月29日～11月25日）

■ゴミ箱減少調査 調査箇所：荒神橋～丸太町橋（左岸）

ゴミ箱を減らした場合のゴミの量とゴミ散乱状況を調査

430m区間：8箇所を4箇所に減（荒神橋上流1つ目、丸太町橋下流1つ目も併せて調査）



■調査結果（減少前後それぞれ14日間の総量）

<ゴミの量 及び ゴミ散乱状況調査>

ゴミ箱番号		減少前	減少後	前後差	備考
①		8.4	7.0	△ 1.4	
前期：②～⑨（8個） 後期：⑤～⑧（4個）	全体	33.9	21.0	△ 12.9	
	1個	4.2	5.3	1.1	微増
散乱・放置			0.3	0.3	微増
⑩		3.7	0.3	△ 3.4	
合計		46.0	29.3	△ 16.7	

<家庭ゴミの混入状況調査>

ゴミ箱番号		減少前	減少後	前後差	備考
①		3.9	2.4	△ 1.5	
②, ③, ④, ⑨	前期のみ	3.1		△ 3.1	
⑤～⑧及び放置	前後期	0.5	4.0	3.5	増
⑩		0.1	0.6	0.5	微増
合計		7.6	7.0	△ 0.6	

■調査結果まとめ

- ゴミの総量は、ゴミ箱を減少させたことに伴い減少。（46.0→29.3：△16.7）
- 存置させたゴミ箱では、1個当たりのゴミの量が微増。（4.2→5.3：1.1）
- ゴミ箱を減少させたことによるゴミの散乱・放置が、僅かではあるが認められた。
- 橋の上下流のゴミ箱では、減少後においてもゴミが増加することはなかった。
- 家庭ゴミの量には、殆ど変化が認められなかった。（7.6→7.0：△0.6）
- 減少前は橋の直近のゴミ箱に集中していた家庭ゴミが、減少後は存置したゴミ箱に移動したのではないかとと思われる。

鴨川公園ゴミ箱調査（その2）

（調査日：平成24年10月29日～11月25日）

■ゴミ箱の蓋設置調査 調査箇所：葵橋～出町合流部（両岸）

蓋付きゴミ箱を設置することによる鳥類被害の状況を調査

3箇所のゴミ箱を蓋無しから蓋付きに変更

- ・蓋なし：11月12日までの15日間
- ・蓋付き：11月13日からの13日間



■調査結果

＜鳥によるゴミの散乱被害状況（つついた形跡のみの被害を含む）＞

＜蓋なし＞ のべ8 / 45（箇所・回） → ＜蓋付き＞ のべ3 / 39（箇所・回）



11月1日(木)
ゴミ箱 ①



11月17日(土)
ゴミ箱 ②



11月8日(木)
ゴミ箱 ①



11月22日(木)
ゴミ箱 ①

■調査結果まとめ

- 鳥による被害は、蓋を付けたことにより減少。
- 散乱の状況も、蓋なしの時に比べて、比較的ましな状況。
- この調査区間は、他の区間に比べてゴミの総量が多いため、入りきらないゴミがゴミ箱周辺に置かれていることが多い。
- カラスがクチバシを突っ込んでゴミを引っ張り出せるような蓋の構造であった。
- ゴミ箱の大きさや、蓋の構造は検討の余地がある。

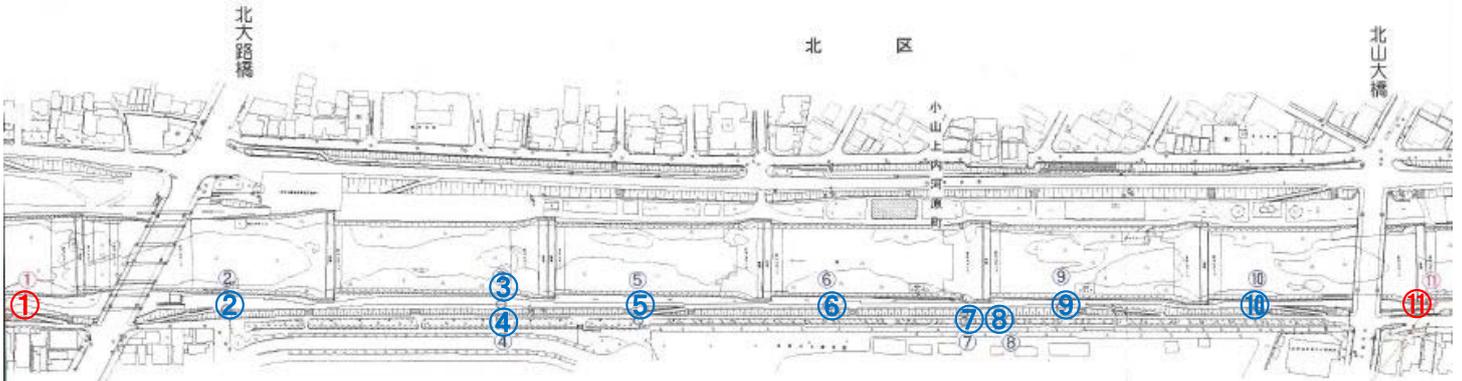
鴨川公園ゴミ箱調査（その3）

（調査日：平成24年10月29日～11月25日）

■ゴミ箱減少調査 調査箇所：北山大橋～北大路橋（左岸）

ゴミ箱を撤去した場合のゴミの量とゴミ散乱状況を調査

840m区間：9箇所を撤去（北山大橋上流1つ目、北大路橋下流1つ目も併せて調査）



■調査結果（撤去前後それぞれ14日間の総量）

<ゴミの量 及び ゴミ散乱状況調査>

ゴミ箱番号	撤去前		撤去後	前後差	備考
①	2. 4		3. 8	1. 4	微増
前期：②～⑩（9個） 後期：撤去	全体	23. 0		△23. 0	
	1個	2. 6		△ 2. 6	
散乱・放置			1. 2	1. 2	微増
⑪	3. 7		0. 3	△ 3. 4	
合計	29. 1		5. 3	△23. 8	

<家庭ゴミの混入状況調査>

ゴミ箱番号	撤去前		撤去後	前後差	備考
①	0. 4		1. 2	0. 8	微増
前期：②～⑩（9個） 後期：撤去	全体	4. 1		△ 4. 1	
	1個	0. 5		△ 0. 5	
散乱・放置			0. 3	0. 3	微増
⑪	0. 7		0. 2	△ 0. 5	
合計	5. 2		1. 7	△ 3. 5	

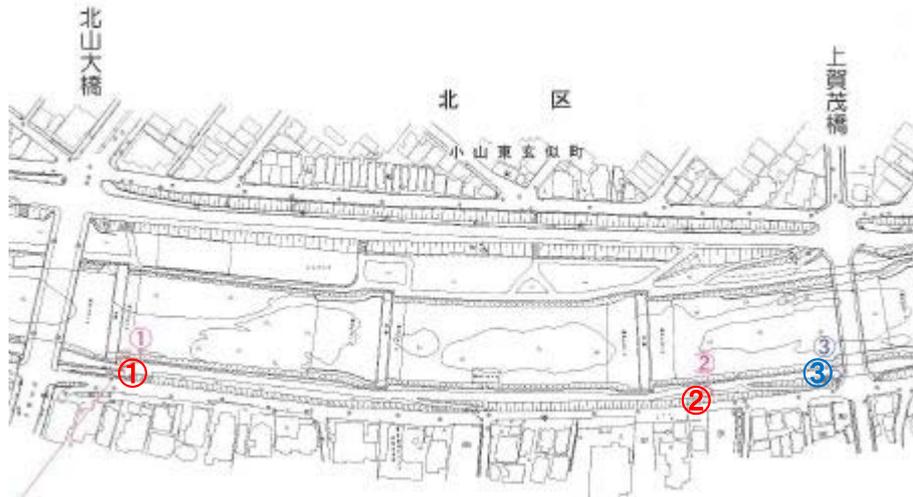
■調査結果まとめ

- ゴミの総量は、ゴミ箱を撤去したことに伴い減少。（29.1→5.3：△23.8）
- ゴミ箱を撤去したことにより、ゴミの散乱・放置が、僅かではあるが認められた。
- 橋の上下流（撤去区間外）のゴミ箱は、撤去後において、一方のゴミ箱では量が僅かに増え、一方は減少しているため、撤去したことが周辺のゴミ箱に影響したかどうかは判断できない。
- 家庭ゴミの量は、減少が認められた。（5.2→1.7：△3.5）

鴨川公園ゴミ箱調査（その4）

（調査日：平成24年10月29日～11月25日）

- 家庭ゴミ混入調査 調査箇所：上賀茂橋～北山大橋（左岸）
橋直近のゴミ箱を撤去した場合の家庭ゴミの混入量を調査
440m区間：上賀茂橋直近の1箇所を撤去



■調査結果（撤去前後それぞれ14日間の総量）

<家庭ゴミの混入状況調査>

ゴミ箱番号	減少前	減少後	前後差	備考
①	0.4	1.2	0.8	微増
②	2.0	2.5	0.5	微増
③	0.7		△ 0.7	
散乱・放置		0.2	0.2	微増
合計	3.1	3.9	0.8	微増

■調査結果まとめ

- 家庭ゴミの混入量は撤去した後に、僅かではあるが増加。（3.1→3.9：0.8）
- 今回の調査では、調査その1、その3の結果を含め、家庭ゴミの量としての明確な傾向が認められなかった。
- この調査区間では、ゴミ箱の近くの道路に車やバイクを止めて、投棄していくものが認められた。
- 車を止めやすい橋の直近や、公園出入口付近のゴミ箱は、不法投棄が生じやすい。